

バソトupp[®]P 1.25

バソトupp[®]P 2.5

【成分・分量】

本品は、次の有効成分を含有する製剤である。

製 品 名	バソトupp [®] P 1.25	バソトupp [®] P 2.5
成 分	1錠(100 mg)中	1錠(100 mg)中
ラミプリル	1.25 mg	2.5 mg

【効能又は効果】

犬：僧帽弁閉鎖不全による慢性心不全の症状の改善

【用法・用量】

犬：体重1kg当たりラミプリルとして0.125～0.25mgを1日1回経口投与する。
体重別には次の投与量による。

体 重	投与量(錠数)	
	1.25 mg錠	2.5 mg錠
2.5 kg 以上 5.0 kg まで	1/2	
5.0 kg を超え 10.0 kg まで	1	又は 1/2
10.0 kg を超え 20.0 kg まで	2	又は 1
20.0 kg を超え 30.0 kg まで	1	+ 1
30.0 kg を超え 40.0 kg まで		2

【一般的注意】

- (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- (2) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (3) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

【犬に対する注意】

1 制限事項

- (1) 本剤は妊娠犬及び哺乳犬に対する安全性は確立されていないので、妊娠中及び授乳中の犬には投与しないこと。
- (2) 本剤は血管狭窄症(例えば大動脈弁狭窄症)の犬には投与しないこと。

2 副作用

薬理作用として降圧作用により低血圧症の症状である虚脱、ふらつき、疲労、昏睡あるいは運動失調が現れることがあるので、特に初回投与後は患犬を注意深く観察すること。なお、低血圧症の危険がある犬へ本剤を投与する場合には、1週間程度かけて徐々に導入する(治療投薬量の半量程度から開始すること)。

3 相互作用

- (1) カリウム保持性利尿剤を使用しないこと。
- (2) 本剤はACE阻害剤であるため、高用量の利尿剤や低ナトリウム食との併用は、低血圧症を引き起こすおそれがあるので、避けること。万一、低血圧症の徴候が現れた場合には、体液及び電解質の状態が正常に戻るまで本剤の投与を中止すること。その後の投与は、最初の投与量の半量から再開すること。
- (3) 本剤はACE阻害剤であるため、非ステロイド系抗炎症剤(NSAIDs)との併用は、急性腎不全を誘発する可能性があるため慎重に投与すること。
- (4) フロセミドを併用する場合、その投与量を減量する必要があるため、慎重に投与すること。

4 適用上の注意

- (1) 必要により適切な対症療法(利尿・強心)を行うこと。
- (2) 本剤は胆汁から約80%、尿から約20%が排泄され、腎機能不全を有する犬においても体内に蓄積される危険性は少ない。しかし、ACE阻害剤の薬理学的性質上、腎前性の高窒素血症を引き起こす可能性があるため、本剤投与の前及び投与開始後7日目に腎機能の検査を行うこと。また、ACE阻害剤又は併用する利尿剤を増量する際にも同様の検査を行うこと。

腎前性高窒素血症が認められる場合には腎機能の検査を強化し、本剤の投与及び対症療法を慎重に行うこと。本剤の投与中に高窒素血症(BUN、クレアチニンの上昇)が認められる場合には、患犬の状態を十分に観察しながら、先ず利尿剤の投与を減量あるいは中止する。改善が認められない場合には本剤の投与を減量あるいは中止し、補液等の対症療法を行うこと。

- (3) また、可能であれば本剤での治療期間中は定期的に腎機能の検査を行うこと。
- (3) 重度の僧帽弁閉鎖不全による慢性心不全に対して、国内における本剤の有効性は確認されていない。

【取扱い上の注意】

- (1) 有効期間を過ぎたものは使用しないこと。
- (2) 使用しなかった製品は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

【保管上の注意】

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

【有効期間】

2年

【貯蔵方法】

室温保存・密閉容器

※お問合せ先及び資料請求先
株式会社インターベツト CA事業部
電話 03 - 6272 - 0860

製造販売元 株式会社インターベツト
(輸入発売元) 茨城県かすみがうら市深谷1103